

**美術袋物カバン類の御用は**  
ヨドヤ「堅い品」を求めに  
「飽く迄も「親切第一」を信条とします  
「小さくとも「堅い店」を標語とします  
平町三丁目平銀行横

美術袋物  
カバン  
洋品雜貨

三下ヤ雜貨店  
小店員入用

**印半天専門**  
優秀品の証明  
草野染工場  
電話三四八番  
磐城 平町

◎徒弟入用  
徒弟契約ニ付テハ年明キニ  
際シ有利ニ御相談申上候

**動脈硬化症、腦溢血特效劑**  
青麻山 中風靈藥  
定價一週分九〇 二週分一七〇 三週分二五〇  
男女中風症 半身不隨 言語難澁 氣血不順等  
他藥にて癒さる人々是非御試用を勸む

代理店 山野邊藥局

**原齒科醫院**  
平町土橋通り電話三一三番

**耳鼻咽喉科専門**  
大和田醫院  
平南町(電話一七〇番)

平町紺屋町(縣社通り)  
美味イウキ食堂  
オの部電話四六〇番

看護婦派出所  
の求めに應ず  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

**開業廿週年 謝恩大賣出し**  
昭和二年十二月三十日より  
全三年四月七日まで百日間  
賣出期間百日を通じて金百  
圓御買上の金九升入膏樟  
御方には金七十圓御買上には四升入  
一樽進呈

玩具問屋 森下商店  
平町一丁目  
まめ屋號

**揃ひました**  
いろいろな  
新形洋服が  
値段は昨年より二割安  
立襟上下 拾圓ヨリ  
脊廣三組 十三圓五十  
錢ヨリ  
オーバ 六七圓位ヨ  
リ

其他變つた新形洋服を澤山  
取揃ひてあります  
十字屋洋服店  
平停車場前通り

大存と共築 簡易の  
△絶へず會員を募ります  
△何時でも申込下さい  
△磐城無盡商會  
△本社 磐城田町本町  
△支店 平町中丁一四  
許免誠 △支店 平町中丁一四  
注意と堅實 趣味の貯蓄

町平紺屋町  
**吉田眼科醫院**

**推薦廣告**  
木村清治君  
右本郡第三區衆議院議員候補者として公  
認推薦す  
昭和三年二月

石城政友俱樂部  
福島縣石城郡泉村大字泉  
字泉五十九番地小林誠次

常磐第一ノ磐城炭礦ノ石炭  
大炭礦ナル

◎石炭トノ特長  
一、目方ノ正確  
二、品質ノ優良  
三、配達ノ迅速

ストーンアンナ良イ品ヲソナニ安ク賣レルカト驚カ  
レ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト「コ  
クス」特長

石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也  
平 驛 前  
阿部石炭商店  
(電話二三七番)

醫藥、温泉で全治せぬ人 難病に試みられよ  
斯る病苦に悩む人 ラチオレーヤで忽ち癒る  
紫電 リョマチス、婦人諸病、各種神經痛  
外波 慢性中風症、肋膜炎、内臟諸病、悪性皮膚病  
光療 肩の凝り、腦神經衰弱、耳鳴咽喉病、腹痛腰痛  
線器 生殖器諸病、流行性感官 其他一般虚弱者  
遠地の人、未知の人にも現品先渡月賦提供  
説明書ハガキで申込次第進呈

東京市芝區宇田川町交又點  
發賣元 東京ラチオレーヤ  
株式會社

特約店 宇佐美藥局  
福島縣平町宇田町

町平紺屋町  
**吉田眼科醫院**

日刊 發行兼編輯人 川島文台 本社下町同地(電話六三〇番)  
定 前金貳拾  
一ヶ月掛 五拾  
三ヶ月掛 一拾五拾  
半年掛 二拾五拾  
一年掛 四拾五拾

東京 每日新聞  
刊夕日五十月二

**常 警 論 壇**  
◆善悪の標準と飲酒の是非  
帆足理一郎

而もこれ因果關係を逆倒せ  
るもので人生が世智辛くな  
るの無益有害の酒を仰い  
で瞬間の快樂を貪らんとす  
る者が多いからだ。酒を止  
めて眞面目に働け、然らば  
労働能率を上げ、労働能率  
の増進は勞銀の増加となり  
生産費の低下は吾々労働者  
の購買力の増進となり、生  
活の改善となり、又循環し  
來つて生産の増進事業の發  
展となる見よこの事實を禁

酒せる米國人の郵便貯金一  
人當り六百七十四百ニユジ  
イランド人六百十八圓、イ  
タリア人でさへ五百六十九  
圓、然るに我が日本人は一  
人當り僅か三十六圓に過ぎ  
ない。吾等に貯蓄心の乏し  
いのは持久力や永遠觀念が  
酒によつて阻害されてゐる  
からだ。

故に結論としていふ飲酒は  
絶對的に不善と見る價值判  
断の標準はあるまいし、又  
時代的に飲酒の弊甚しから  
ざりし往古においては單な  
る社交の目的のために正善  
視されたこともあり、又快  
樂主義の見地からは今日に  
ても不善とは云へないが

知れないが、社會生活の向  
上に貢献する、否や善悪  
判断の規準として考察する  
場合、此我が日本において  
殊に人口問題、食糧問題、  
或は企業難、生活難の益々  
緊張しゆく我が國において  
悠々閑々、酒を弄んで浪費  
を意とせざるが如きは、個  
人的にも社會的にも罪惡と  
して難詰すべきものではな  
いか。然り、飲酒は最早、  
趣味好尚の問題ではない。

(をほり)



### 普選審判の日は近し

#### 今は論戦に聲もかかれて

期日の切迫と共に白熱化して来た縣下の政情は普選最初の事であるだけに更に得票標準がつかないの、各候補とも此處を先途と奮戦これ大に努めてをり、まこと政友、民政とも天下分け目の大戦で各地に轉戦しつつある應援辯士の如きも聲もかかれんばかりなみじめさを繰返して居る、尊き普選の審判者は果して如何なる判決を與へるであらうか、將に此處五三日の善戦によつて決することになる

### 更に戒心を要すと

#### 最後迄必死に論戦

#### 形勢非なりと傳へられた

第三區に中原鹿射止めんと北部の同志松本孫右衛門氏と共に石城を唯一の地盤と頼み縦横無盡の馳驅を試みてゐる木村清治氏は松本氏の南部

### 割込み

によつて幾分の蠶食は免れざるべき状態に陥ると共に更に北部諸雄の南部切込南部勇者の奮目的躍進により瘡痕を受けて形勢非を見られる如く傳へられてゐたが實際の勢力に至つては敵味方の見さかなく鎗を削つてゐる民政二氏民政系二中立候補のチヤンピラ式

### 混戦に

て木村候補の威力は之を裏切り却て頑強なるものを示し超然としてゐるが油断を大敵とする戦法上尙一段の努力の要ありと十五日高久、飯野、豊間夏井十六日田人、植田、入遠野、上遠野十八日鹿島、平

### 木村候補の陣形

等にて最後の獅子吼を試みる等である

### 平町の

#### 投票所設備

#### 縣會と同様

平町では愈々選挙期具が切迫して来たので諸般の準備を急ぎ入場券も十四日から一齊にこれが配布を開始したが投票所の設備に就ては昨秋縣會議員選挙の際場内の混雑を防止せんとして試みに行つた既定設備が頗る良好であつた爲夫々踏襲する等である

### 何れ劣らず

#### 各軍の奮進

#### 在野各候補 石城に闘ふ

民政黨公認二名同系中立二名によつて第三區に南戦北伐を試みてゐる同一派の戦況は有権者の激増を唯一の

たのみとして獅子奮迅の猛闘をつゞけ眞に叫喚修羅の巷を現出してゐるが既に山田、佐川、比佐の諸將が及向つてゐる石城方面へ北部の氏家氏また戦ひを挑んで切込む事となり十五日から平町に事務所を設置して最

### 御大典の秋に

#### 素晴しい催し物

石城農試分場記念祭  
平と連絡して賑かに

石城郡神谷村の本縣農試分場では本年創設五周年に相當するので來る十一月御大典奉祝をかねて大々的に記念の催しをなすべく著々其準備に取かゝつてゐる同計畫大體の内容は同場自慢の園藝品評を初め各種

### 農産物の 品評會並

に農具展覽會及び丁度其頃は菊花の時期なので平町其他地方愛菊家の優をすぐる菊花品評會、更に高等農業講習會を開催せんとするもの等それには隣接平町の協賛は勿論同町もまた御大典奉祝には町有志等の間に地方名産品展覽會の計畫ある



春の集ひの吸物

◇材料(四人前)——白魚干二十尾(車海老(大)二尾)玉子(黄味一個)神馬藻(少々)調味品  
◇調理——白魚干の成るべく

後の戦闘を開始する等なれば比較的静寂を辿りつゝある相雙郡の躍動を見ると共にに終局に切迫せる民政派の攻防戦は言語に絶する物凄き場面を展開するに至るべく観測されてゐる

### 町内各區 競つて全

街の裝飾に早くも意匠を凝らされてゐる、前記農試場の催しと總ては連絡をとる

### 選挙騒ぎを他所にして

#### 南枝漸く綻ろぶ

#### 佳人を待つか二三輪

平地方は大寒明けの後の寒さが却て烈しく殊に數日の朝夕は一層厳しいけれども日中は春らしい暖かさで北に山を負ふ南面は日向ボツコに適當な日和が續いて梅花もチラホラ綻び初め近在にはうぐいすと聲も聞

く大きいものを芥のやうな物を取り去り水をかけてザツト洗ひ、尙一寸沸湯をかけておく、車海老は皮を剥ぎ背腸を取り除け、粗板の上で念入りに叩き摺鉢に入れて潰し玉子黄味は出汁(大匙一杯位)を加へ混ぜ合せ鹽(小匙三分の一)を加へて味をつける、四分の一

等で伏見町長と稻田場長の間には既に數回の打合せを重ねてゐるが今秋の御大典に於ける平町は縣下にもまれな賑やかさを見るであらう

### 石城青年總會

石城郡第三方面聯合青年團春季總集會は三月十日午前八時より平町平劇場に於て開催されるが之が準備のために來る二十二日午前十時より平町第一小學校に各町村青年團集合して協議をなす等

### 平町 人事

▲死亡  
△平町見町十三 山野邊浩一(五

### 産業立國を基調とする

#### 政友會の主要政策

産業立國——地方分權——地租委讓  
對支外交——財界整理——新財政計畫  
關稅政策——鐵道政策——營業收益稅  
の輕減——不景氣挽回——低資還元の  
効果——社會政策的施設

革新の氣分と希望に輝やく昭和新政の序幕は、國民渴仰の中に、畫期的普通選挙の實施を以て切て落された上に新らしき叙明なる聖天子あり。下に自覺せる新らしき千餘萬の有権者あり。國民精神を伴ひ、積極進取の方針を確立して國政を改革し國家繁榮の基を築き

して公正なる國民の判斷に訴へるのも實に之れがためである

### 産業立國

今日の急務は、何と云つても、國富を増進し、國力を充實するにある。政友會は國家内外の實勢に照らし、政治の大本を産業の振興に置き内政も外交も萬般の政策、みなこの産業立國主義から割出して、國家及國民の經濟生活を充實し、外に國際協調の精神を保持して帝國の經濟的發展の進路を世界に開拓し、内には生産と消費の關係を調節して國民生活の安定を圖る、これ

が政友會の主張する産業立國の精神である。

### 地方分權

地方自治の機能は自由を發揮せしめるには、有害無益なうるさつ中央政府の干渉を撤廢し地方議會の機能を擴張し地方團體の基礎を鞏固にせねばならぬ、然らざれば地方の産業を開發し地方民の經濟生活を豊かにすることは出来ぬ。今日の儘にして置けば、地方は益々疲弊して國家の繁榮を阻害する。これ政友會が地方分權を力説する所以である

### 地租委讓

政友會は國稅としての地租六千七百萬圓を、昭和五年度から全部市町村に委讓して、その處分を地方自治體の裁量に一任する、今日地方の實況は誠に慘めなもので、地方自治は殆んど有名無實である、今の儘にして置けば、日に日に疲弊して結局國家衰亡の因となる、而して地方團體の基礎を鞏固にし、地方自治の機能を自由發揮せしめて地方の産業を開發し地方人民の經濟生活を豊かにするには、地方に確實な獨立の財源を與へて、從來の賦稅を廢止せしめ斯くして地方民の負擔を輕減し經濟的活動の餘力を涵養させる。